

令和6年11月1日
道路局 国道・技術課

道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を1件採択します
～「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」募集の審査結果について～

○新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するためFS(フーズビリティスタディ)研究・短期研究として1件採択することとしましたのでお知らせします。

○引き続き、令和6年度のFS研究・短期研究を、継続して募集しています。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議を設置しています。

令和4年度から道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を立ち上げ、通年募集し年間4回、合計10件程度を採択することとしています。

今回、5月末までに応募のあった2件について新道路技術会議において審議し、別紙の1件を採択することとしました。

※FS研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

<応募の審査時期>

応募	審査	採択
3月～5月	6月	1件(今回)
6月～8月	9月	(応募なし)
9月～11月	12月	—
12月～2月	3月	—

<応募要領等>

- FS研究・短期研究 募集要領及び提案様式

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国交省HP

- 道路行政ニーズ

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国交省HP

<問い合わせ先>

道路局 国道・技術課 本村、森(内線 37862、37855)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8498

<ハード分野>

FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	・冬期の路面状況が遠隔で、概略把握できる技術（現状に比して安価・簡便に、更には自動で冬季の路面状況を把握する技術の開発） ・プローブデータを活用した道路の維持管理（一般車両のプローブデータから、路面の状況（ひび割れ、わだち、IRI）を把握する技術の開発）	バッテリーレスなタイヤマウントセンサによる路面状態モニタリング方法の開発	タイヤと路面の接地状態のモニタリングを実現するための基礎技術として、摩擦発電機を組み込んだバッテリーレスなタイヤマウントセンサを用いて路面状態のモニタリング方法を開発する.	学校法人 関西大学 システム理工学部 教授 谷 弘詞

技術研究開発の分類

分類	本格研究	FS研究	短期研究
概要	道路行政の現場のニーズや実用化に向けた成果イメージ等を踏まえ、道路政策の質の向上への貢献が期待できる研究を支援		
		本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの	短期的に実施可能な小規模な研究開発
研究規模	500万円程度から最大5,000万円/年	最大300万円/年	
研究期間	最大3年間程度	最大1年間程度	1年間程度/回 (同じテーマで連続 2回まで申請可能)
募集・採択	年1回募集し毎年3月頃に採択を決定 年間5件程度の採択を想定	通年随時募集し年間4回採択を決定 年間10件程度の採択を想定	